

## (中国本土) 企業の外債枠が再び純資産の 2.5 倍まで拡大

2022 年 10 月 25 日付けで、中国人民銀行及び国家外貨管理局は、「クロスボーダー融資のマクロプルーデンス政策因数の調整に関する通知」(銀発〔2022〕238 号、以下「238 号通知」という)を公布し、マクロプルーデンス管理モデルにおけるマクロプルーデンス政策因数を 1.00 から 1.25 に引き上げました。これにより、マクロプルーデンス管理モデルを採用し外債調達を行う企業は、域外(香港等を含む)非居住者からの債務枠(以下、「外債枠」という)が純資産の 2.0 倍から 2.5 倍に拡大されます。

「238 号通知」の目的は、新型コロナウイルスやロックダウンの影響で資金繰りに苦戦する中小企業に対して、外債枠に係る規制を緩和し、クロスボーダー融資等の多様な資金調達手段の確保を図ることにあります。

なお、同様の目的で、2020 年 3 月 11 日付け銀発〔2020〕64 号により、マクロプルーデンス管理モデルにおけるマクロプルーデンス政策因数を 1.00 から 1.25 へ引き上げましたが、域外資金の多額の流入を防止する目的で昨年引き上げ前の 1.00 まで引き下がりました。よって今回の通知は外債枠の再拡大となります

(前回の内容についてはニュースレター No.139 をご参照ください)

<https://www.faircongrp.com/news/letter/2693/>。

現時点においては、企業の外債枠について、マクロプルーデンス管理モデルと従来型の投注差管理モデルとで管理されており、各社は表 1 の通り、いずれかを選択することになります。

(表 1) 企業の外債枠の管理モデル

管理モデル	マクロプルーデンス管理モデル	投注差管理モデル
外債枠	クロスボーダー融資リスク加重残高上限 (表 2)	投注差(表 3)
対象企業	中資系企業及び外資系企業	外資系企業(中資系企業は認可が必要)
通貨	人民元・外貨	人民元・外貨
期間	短期・中長期	短期・中長期
外債枠管理	残高管理のみ(表 2)	発生額管理または残高管理

(表2) マクロブルーデンス管理モデルの外債枠と外債枠管理

<b>外債枠</b>	クロスボーダー融資リスク加重残高上限 = 企業の純資産額 × レバレッジ率 (2.0) × マクロブルーデンス政策因数 (1.00 → 1.25) 今回の「238号通知」により、マクロブルーデンス政策因数が1.00 → 1.25に変更となりました。 例えば、純資産が10の会社であれば、外債枠は $10 \times 2.0 \times 1.25 = 25$ となります。		
<b>外債枠管理</b>	枠内外債利用額 = $\Sigma$ 外貨・人民元融資残高 × 期限リスク因数 × 類別リスク因数 + $\Sigma$ 外貨融資残高 × 為替リスク因数		
	リスク因数	区分	因数
	期限リスク因数	中長期 (1年超)	1
		短期 (1年以内)	1.5
	類別リスク因数	オンバランス融資	1
		オフバランス融資	1
	為替リスク因数	—	0.5

(表3) 投注差管理モデルの外債枠

<b>外債枠</b>	投注差 = 投資総額 - 注冊資本
<b>投資総額</b>	資本金・借入金等によって調達する企業への総投資額
<b>注冊資本</b>	登録資本金 (実際に資本金として企業に払い込まれた金額)

例えば、投資総額が10で注冊資本が5の場合、外債枠は  $10 - 5 = 5$  となります。また外貨建で外債を利用する場合、短期 (1年以内) と長期 (1年超) で管理方法が異なります。外貨建の短期外債の場合は残高管理につき1年以内に完済すれば外債枠は戻ります。しかし、外貨建の長期外債の場合は発生額管理につき完済しても外債枠は戻りません。ただし、地域により規制が異なる可能性があるため、事前に当局と確認する必要があります。

マクロブルーデンス管理モデルでの管理は2016年から全国展開されていますが、投注差管理モデルにより外債を活用していた会社がマクロブルーデンス管理モデルに切り替える場合、過去の投注差管理モデルでの借入をマクロブルーデンス管理モデルで再計算する必要があります。

なお、今回投注差管理モデルの変更はなく、今後の投注差管理モデルに関する追加政策の展開次第では投注差管理モデルの根拠法令の効力が有効でなくなる可能性がありますので、この点もご注意ください。

2022年10月25日付け「クロスボーダー融資のマクロプルーデンス政策因数の調整に関する通知」の日本語訳は下記のとおりです。

<p><b>中国人民銀行 国家外貨管理局</b></p> <p><b>クロスボーダー融資のマクロプルーデンス政策因数の調整に関する通知</b></p> <p><b>銀発〔2022〕238号</b></p> <p>全範囲クロスボーダー融資のマクロプルーデンス管理をさらに改善し、企業や金融機関のクロスボーダー資金源を増やし、資産・負債構造の最適化を促進するため、中国人民銀行および国家外貨管理局は、企業および金融機関のクロスボーダー融資のマクロプルーデンス政策因数調整を1から1.25へ引き上げることを決定しました。</p> <p style="text-align: right;">中国人民銀行 国家外貨管理局 2022年10月25日</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<お願い> 上記日本語訳は中国語原文規定の翻訳です。翻訳には正確を期しておりますが、中国語と日本語の表現の相違等から日本語翻訳の内容に誤解が生じる恐れがあります。中国語原文との間に解釈の相違がある場合、中国語原文を参照くださいますようお願いいたします。

## フェアコンサルティング中国

(正緯企業管理諮詢(上海)有限公司)

<p>北京分公司 北京市朝陽区東三環北路甲19号楼 嘉盛 SOHO 10層 A058 室 電話：+86-10-8524-0758 担当：粟村 (AWAMURA) 日本国公認会計士 <a href="mailto:hi.awamura@faircongrp.com">hi.awamura@faircongrp.com</a></p>	<p>蘇州分公司 蘇州工業園区華池街88号 晉合広場2号11F 1176室 電話：+86-512-8916-5176 担当：粟村 (AWAMURA) 日本国公認会計士 <a href="mailto:hi.awamura@faircongrp.com">hi.awamura@faircongrp.com</a></p>
<p>上海総公司 上海市黄浦区茂名南路58号 花園飯店(上海)601室 電話：+86-21-6473-5450 担当：上原 (UEHARA) 日本国公認会計士 <a href="mailto:ik.uehara@faircongrp.com">ik.uehara@faircongrp.com</a></p>	<p>成都分公司 四川省成都市成华区双慶路10号 華潤大廈32層3201室 電話：+86-28-6287-7518 担当：上原 (UEHARA) 日本国公認会計士 <a href="mailto:ik.uehara@faircongrp.com">ik.uehara@faircongrp.com</a></p>
<p>広州分公司 広州市天河区珠江新城珠江東路12号 高德置地冬広場H座1501室V80 電話：+86-20-3268-9966 担当：古矢 (FURUYA) 日本国公認会計士 <a href="mailto:yo.furuya@faircongrp.com">yo.furuya@faircongrp.com</a></p>	<p>深セン分公司 深セン市福田区深南大道4019号 航天大廈A座610室 電話：+86-755-8252-8290 担当：古矢 (FURUYA) 日本国公認会計士 <a href="mailto:yo.furuya@faircongrp.com">yo.furuya@faircongrp.com</a></p>

「FCG 中華圏 ニュースレター」本文の内容の無断での転載、再配信、掲示板の掲載等はお断りいたします。

「FCG 中華圏 ニュースレター」で提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。

フェアコンサルティンググループでは、できる限り正確な情報の提供を心掛けておりますが、「FCG 中華圏 ニュースレター」で提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、フェアコンサルティンググループ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。